

# 広報

# やまこひ



1995  
7月  
第324号



自然休養地  
「四季の里古志」キャンプ場

オープン

- 村議会定例会及び参議院議員選挙 P.3
- スナップショット P.4
- 錦鯉浮腫症 P.6~7
- 特別慶弔金の支給 P.8
- 村職員募集 P.9
- 村レク8月20日開催 P.10

今月の内容

「牛の角突き」と「錦鯉発祥の地」



広報やまこし

1995  
7月  
第324号

●発行／山古志村役場

一九四七一〇一 新潟県古志郡山古志村大字竹沢乙四六一

電話(0258)五九一一〇三〇

●編集／総務課 ●印刷／大川印刷株式会社

## 7月村民カレンダー

1(土)	
2(日)	・山古志村消防団消防演習
3(月)	・高齢者大学 午前9:30~種芋原農産物処理加工場
4(火)	・三種混合予防接種 午後1:30~2:30 種芋原診療所
5(水)	・三種混合予防接種 午後1:30~2:30 山古志村診療所 ・高齢者大学 午前9:30~虫巻多目的集会施設
6(木)	
7(金)	七夕 ・血糖検査 ・高齢者大学 午前9:30~ 池谷集落センター
8(土)	・青空ぼうけん塾
9(日)	・国保人間ドック(第4回) 午前6:30役場出発 新潟県健康管理協会 ・三島、古志郡連合消防演習(寺泊町)
10(月)	・胃カメラ検診 午前7:30役場出発 中央総合病院 ・高齢者大学 午前9:30~ 竹沢集落センター ・血糖検査 不燃ゴミ収集
11(火)	・乳児相談会及びあそびの教室 午前9:30~11:30 村民会館 午後1:30~3:30 種芋原農産物処理加工場(中止)
12(水)	・にこにこ会 午前10:00~午後2:00 村民会館 ・高齢者大学 午前9:30~ 東竹沢小学校
13(木)	・第2回村民ゴルフ大会
14(金)	・在宅介護者の集い 午後1:30~3:30 村民会館
15(土)	
16(日)	・牛の角突き 午後1:00~ 池谷会場
17(月)	
18(火)	・国保人間ドック(第5回) 午前7:50役場出発 小千谷総合病院
19(水)	
20(木)	・事後指導会 午後1:30~3:00 虫巻多目的集会施設 ・胃カメラ検診 午前7:30役場出発 中央総合病院
21(金)	・事後指導会 午前10:00~11:30 大谷地集会所 午後1:30~3:00 上村担い手センター ・国保人間ドック(第6回) 午前6:30役場出発 新潟県健康管理協会
22(土)	・青年交流集会(夏のイベント)
23(日)	・青年交流集会(夏のイベント) ・健康ウォーク
24(月)	・胃カメラ検診 午前7:30役場出発 中央総合病院 ・事後指導会 午後1:30~3:00 中野集会所
25(火)	・三種混合予防接種・日本脳炎予防接種 午後1:30~2:30 種芋原診療所 ・事後指導会(糖尿病) 種芋原農産物処理加工場
26(水)	・三種混合予防接種・日本脳炎予防接種 午後1:30~2:30 山古志村診療所 ・事後指導会 午前10:00~11:30 大久保集落センター
27(木)	・事後指導会(糖尿病) 村民会館 ・少年体験教室(新潟市)
28(金)	・事後指導会 午前10:00~11:30 池谷集落センター ・少年体験教室(新潟市)
29(土)	
30(日)	
31(月)	・事後指導会 午後1:30~3:00 榛木集会所(中止)
8/1(火)	
2(水)	
3(木)	・胃部検診 午前8:30~10:30 種芋原農産物処理加工場 ・事後指導会 午後1:30~3:00 木籠集会所
4(金)	・胃部検診 午前8:30~10:30 種芋原農産物処理加工場 ・事後指導会 午後1:30~3:00 榛木集会所

人口の動き  
(7.6.1現在)

■人口 2,669人(-3) 男 1,342・女 1,327  
■世帯数 756(±0)

■5月中のうごき □出生1 □死亡1 □転入3人 転出6人

なんこつたつてアイドル

美紀ちゃん

平成5年3月17日生まれ 一種芋原一  
小川 英夫・志保子さん

こんなちは、みきです。  
いつも本を見たりして遊んでいます。何か食べたくなると、ちょっとちょっとと言って冷蔵庫の前に行くの。お目当はアイスクリーム。だっておいしいんだもん。元気でたくましい女の子です。

## 村民レクリエーション大会 8月20日に開催

8月27日に計画していました  
た第27回村民総合レクリエーション大会は、8月20日に変更して開催します。

## 献血功労者の表彰

日本赤十字社  
銀色有功章受賞(献血30回以上)

小池 勝行さん  
(桂 中)

会長 星野仲次郎(竹沢)  
副会長 小幡 国作(種芋原)  
(会計兼務)  
監事 松崎 均(東竹沢)  
副会長 小川 八一郎(東竹沢)  
監事 高野与喜栄(竹沢)  
監事 五十嵐俊一(虫巻)  
監事 会長 星野仲次郎(竹沢)  
副会長 小幡 国作(種芋原)  
監事 坂牧 ハル(種芋原)  
(敬称略)

ゲートボール連盟役員  
会長 星野仲次郎(竹沢)  
副会長 小幡 国作(種芋原)  
監事 坂牧 ハル(種芋原)

役員改選  
このほど、各クラブ役員の改選がありましたので、お知らせします。任期は、それぞれ二年です。

新農村地域定住促進対策事業  
キャンプ場の屋外炊事施設です。  
大きさは6m30cm×11m40cm。  
鉄筋平屋造りで、蛇口12個。  
ド10個が備えてあります。また  
貸しテント(6人用15組・8人用  
5組)や薪を用意して、皆さんの  
お越しを待っています。

支部長 小幡 国作(種芋原)  
支部長 長島 星野(虫巻)  
支部長 川上 ミス(東竹沢)  
支部長 若吉(種芋原)  
監事 坂牧 ハル(種芋原)  
会計 坂牧 ハル(種芋原)  
監事 川上 真一郎(竹沢)  
監事 岩谷(種芋原)  
監事 岩谷(種芋原)  
監事 岩谷(種芋原)  
監事 岩谷(種芋原)

今月の表紙



# 二十周年

## 記念ステージ

— 民俗芸能発表会 —

第二十回山古志村芸能発表会  
が六月二十五日、村民会館大ホールで行われました。

地域に昔から伝わる民俗芸能の保存・継承と明るい村づくりをめざして、昭和五十一年四月十八日種芋原中学校体育館で第一回発表会が開かれ、今年で二十回目を迎えました。

十周年記念にふさわしいステージになりました。

# スナップショット



## ゲートにアタック 優勝！竹沢Aチーム

6月2日、第7回竹沢郵便局長杯ゲートボール大会が山古志中学校グラウンドで行われました。

村内から10チームが参加し3コートに分かれて対戦しました。各コート得点の多いチームが決勝リーグに進みます。決勝リーグには竹沢A、種芋原A、種芋原Bの3チームの戦いとなり、竹沢Aチームが優勝しました。

成績は次のとおりです。

優勝	竹沢Aチーム
二位	種芋原Aチーム
三位	種芋原Bチーム



## 河川の環境美化 竹沢互幸老人クラブ

6月11日、朝日川の草刈りが互幸老人クラブの会員によって行われました。

上流の山中から下流は間内平の村境まで約2kmを、33名の会員が3つのグループに分かれて、草刈り機で刈ったあと草を束ねて片づけます。水の流れや石がゴロゴロして足場の悪いなか、ひたむきに汗をかきながら慣れた手つきで刈り取っていました。



新潟県知事杯争奪 ゲートボール大会  
長岡市信濃川河川敷運動公園  
で六月十日、新潟県知事杯争奪  
第一回新潟県ゲートボール大会が  
分かれて対戦し、山古志チーム  
はコート優勝を果たし、県大会  
への出場権を得ました。  
一二〇チームが二六コートに  
分かれて対戦し、山古志チーム（選抜）  
が二年になります。

県大会での活躍を期待します。



## “大きくなれ！”

萱峰牧場に牛を放牧

晴天に恵まれた六月一日、萱峰牧場に放牧が行われました。放牧は、家畜保健所や中越農政事務所・普及センター・農協など関係者の協力を得て、肥育牛生産組合員が中心になり上牧しました。それらの牛舎から採血検査の済んだ牛をトラックで運び現地で体重測定をした後、青々と生い茂った草地に親牛一頭・子牛一頭・種雄牛一頭が放牧されました。

今年は餌場を新設し、広く食べやすくしました。秋には受胎した親牛と大きく成長した子牛が下牧されます。



## “車の健康”気をつけてますか

■自動車の検査・点検整備制度の改正■

今年の七月から、自動車の検査および点検整備制度が変わります。これは、自動車技術の進歩や車の使われ方が多様化するなど、自動車を取り巻く環境の変化に、きめ細かく対応するために行われるものです。今回改正された制度には、大きく分けて三つのポイントがあります。

**ポイント1**  
車の健康管理は  
ユーザー自らの責任で

七月から施行される「改正道路運送車両法」では、点検整備をするなど、車を常に適切な状態に維持する責任が、自動車ユーザー自身にあるといふ、いわば自己責任の考え方が導入されています。

**ポイント2**  
6か月点検の廃止  
12か月、24か月点検の項目の半減

改正前の制度では、自家用乗用自動車など（いわゆるマイカー）については、六ヶ月、十二ヶ月、二十四ヶ月の点検を受けることが義務づけられています。このうちの六ヶ月が二年（一年）点検と二十四ヶ月と二年（二年）点検だけが義務づけられることになりました。つまり、十二ヶ月点検で六十項目から二十一ヶ月点検で六十九項目へ簡素化されています。具体的には、

六ヶ月点検の廃止や点検項目の削減などの見直しが実施されることは、それだけ車をもつ人の責任が問われることになります。日常の点検を習慣づけるとともに、定期点検を含めた車の使用状況に応じて、自分の判断で適切な点検整備を実施することが重要です。

繰り上げ支給と  
繰り下げ支給

老齢基礎年金は、原則として65歳から受けられますが、希望

保険料を納めた期間が40年に満たない場合は、その期間に応じて減額されます。

①65歳まで受けられる特別支給の制限があります。

②65歳まで受けられる特別支給の人が対象

③障害基礎年金・寡婦年金は受けられません。

④遺族厚生年金とは65歳まで選択になります。

（昭和16年4月1日以前生まれの人）

繰り上げ支給をした場合、次の

65歳から受けられますが、希望

65歳まで受けられる特別支給の制限があります。

①65歳まで受けられる特別支給の人が対象

②65歳まで受けられる特別支給の人が対象

③障害基礎年金・寡婦年金は受けられません。

④遺族厚生年金とは65歳まで選択になります。

（昭和16年4月1日以前生まれの人）

繰り上げ支給をした場合、次の

あなたの池は  
大丈夫?

## 錦鯉浮腫症(ウイルス性工ラ病)とハウス飼育による予防試験

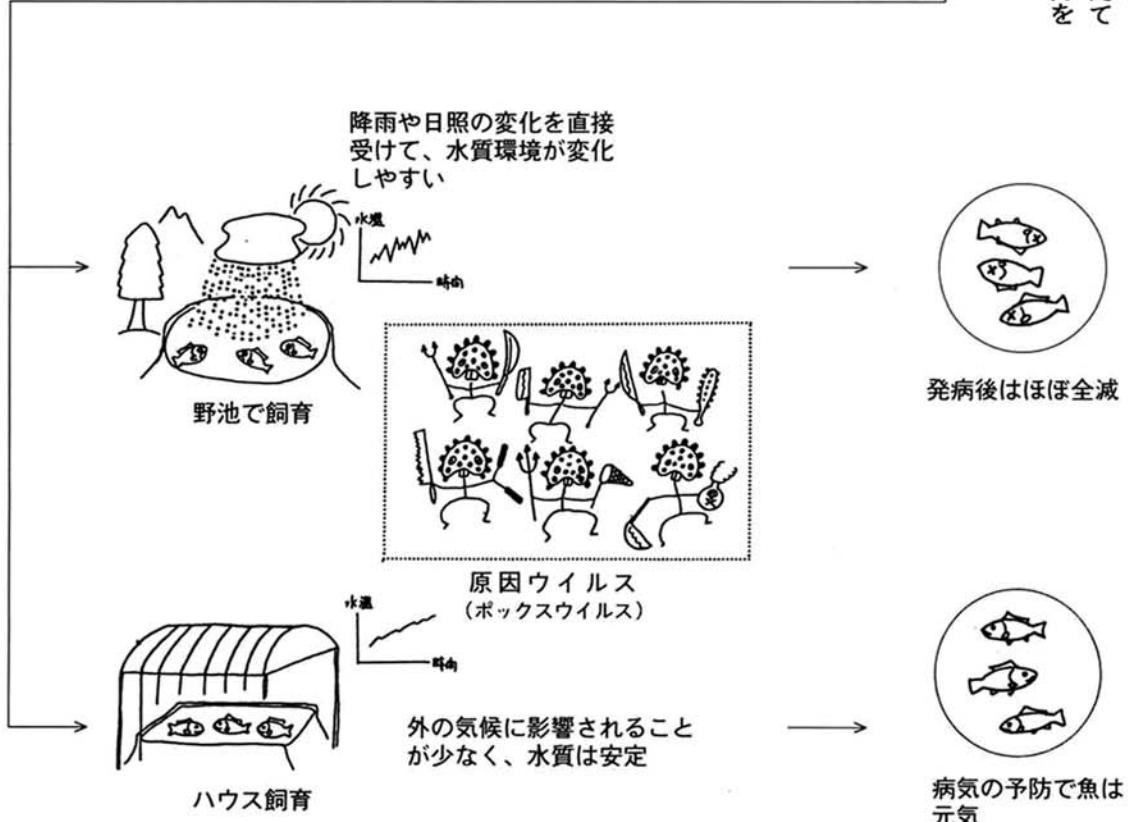
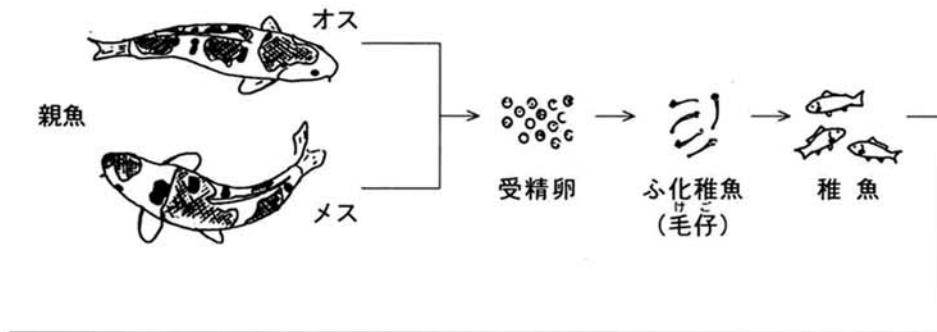
**内水面水産試験場**  
錦鯉稚魚が梅雨時期に急性な大量死をもたらす病気は、口ウソク病や浮腫症などと呼ばれ、昭和四十年代後半に発生し、以降四半世紀を迎えようとしています。

の施しようがない病気であり、  
発生すれば池の水をそっくり捨  
て、水作りや採卵をやり直さな  
ければならない厄介な病氣で、  
しかも次々と広がり、大切な稚  
魚の生産を脅かす元凶でした。  
これまでに、試験場はもちろ  
ん、多くの養鯉家がこの病氣の  
治療方法や原因などについて知  
恵を出し研究に努めてきました。  
その成果として、食塩浴に治療  
効果があることが分かったので、  
今は発病後は池から取上げて食  
塩浴で治しています。

暑で、当地においては水不足や池の地割れなどでご苦労されたことでしょうが、浮腫症にとつては全県に渡って過去最低の発生で済みました。これは、気温が高めに安定したので、発生が少なかつたと考えられています。環境と浮腫症の関係を示す良い例ではないでしょうか。

これをヒントに単純のようですが、稚魚池にハウスを架けてみることにしました。過去にもハウスで稚魚を飼育したことが何度かありました。しかし、露地病していません。そこで今回は、もし自然発病が池も発病はなく、果たしてハウスに効果があったのか不明です。なかつたら人為的にウイルスを感染させてその効果を確認したいと思います。

これまで、養鯉家の方々はいろいろ工夫して浮腫症対策を講じてきましたことと思います。これまでにハウス飼育を試みた方がいりますでしょうか。また、稚魚池にハウスを架けてみたいと思われる方がいましたら是非試験場にご連絡をいただきたいと思います。多くの方の協力があれば効率的に数多くの知見を得ることができます。



## ハウス飼育試験のイメージ

露地池とハウス池で同じように飼育して発病調査や水質調査などを行います。  
もし自然発病がなければ、人為的にウイルスを感染させて比較します。

内水面水産試験場から浮腫症について寄稿していただきまし  
た。  
詳しいことは、病理環境課まで連絡して下さい。

野和弘さんの三名が魚病対策指導員に選ばれ、浮腫症をはじめとする魚病について、尽力を願っています。指導員を通じてハウスマネジメントについての意見や疑問を出し合っていただき、一緒に考えてスケーラーの飼育についての意見や疑問を出し合っていただき、一緒に考えて参りたいと思います。ご協力をよろしくお願いします。

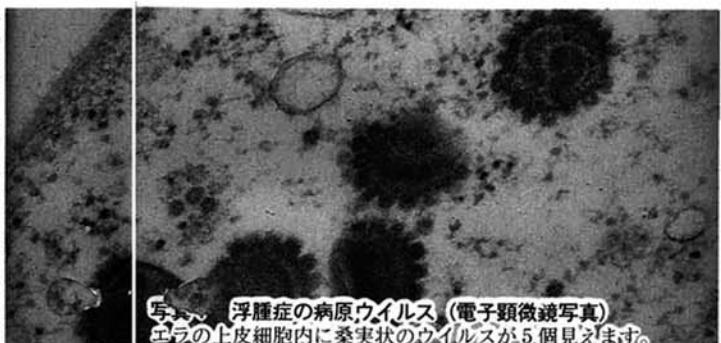


写真 浮腫症の病原ウイルス(電子顕微鏡写真)  
エラの上皮細胞内に桑実状のウイルスが5個見えます。



**写真2 病魚のエラ(電子顕微鏡写真)**  
エラの先端がこん棒状に変化し、隣のエラと癒着しています。  
エラの正常な働きは出来ません。



**写真3** 健康魚のエラ(電子顕微鏡写真)  
杉の葉のように整然と並んでいます。  
病魚のエラと目ヒラブ(イヌダギ)。

に属するウイルス（写真1）がエラの上皮細胞と呼ばれる一番外側のメリのある皮膚に伝染する病氣であることが分かりました。このため病魚のエラはなん棒の様に凹凸のない形に変わります（写真2）。覚えておくべきは伝染力の強いウイルスであることです。

エラは大事な働きをする臓器で、呼吸のほかにも、浸透圧を調整するという大事な働きをしています。死んだ魚を水の中に放つておくと水膨れになりますが、水膨れにならないようにするのが浸透圧調整です。魚のエラはヒトに例えれば肺と腎臓の働きを同時にしている大切な臓器です。

この病気に罹ると、血中のナトリウムと塩化物が減少し、つ

エラが壊れて浸透圧調整ができなくなつたことを示しており、体のむくみも出でてきます。

食塩浴には、減少したナトリウムと塩化物を強制的に魚に補給し、速やかに回復させ、また食塩浴ではヌメリがはがれます。が、この時にウイルスも一緒に脱落するという二重の効果が確かめられています。

病気の原因、病気の特徴、治療方法と次々に分かってきましたが、最後に残されている課題は病気を出さない予防です。

ヒトの風邪もウイルス病です。多くの風邪薬が市販されていますが、その効果は熱を下げる、咳を止めるなどの二次的な対処であり、ウイルスを直接退治するようなものではありません。

があります。しかし、これも空氣そのものを治す薬ではなく、ウイルスが体内に入ってきたら、それに太刀打ちできる抵抗力を作つて発病を防ぐものです。このように一度発病したら治療は不可能で、病気が通り過ぎるのを待つしかないのがウイルス病の特徴ですが、幸いなことに浮腫症は食塩浴で治療が可能です。しかしながら、発生するかしないか分からぬ病気のために食塩浴を準備し、しかも食塩浴が効くのは発病後精々一二日以内で、それ以降はなかなか効果がなく、手遅れとなる例が多く見られます。

ていますが、決め手となるものは見つかっていません。

しかし、一部の養鯉家は病気を予防するために水づくりよりも、飼育池や受精卵の消毒の徹底や稚魚池を川上側に配置するなどの伝染させない防疫体制づくりに意欲的に取組んでいます。この様な方は少数ですが、今後は当然のこととして、実行されなければなりません。繰返しますが、感染力の強い、殺傷力の高いウイルス病であることを忘れないでください。

防疫体制を整えるとともに、飼育方法についても何か工夫が必要なのではないでしょうか。予防の「魔法の薬」は恐らくないような気がします。そこで、「なぜ梅雨時期に集中して発生するのか?」という原点に戻つてみると、(図)梅雨時期は降雨や日照が繰り返され水質が変わりやすく、この変化が病気発生の引き金となっているとの指摘が発生当初からあります。これまでも浮腫症に関しては水質を調査しましたが、何がどのように変化すると発病を引起するのか不明です。

しかし、環境の変化を少しでも和らげることで発病をある程度防ぐことができるのではないかと思われます。昨年は異常猛

